

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	KIDS GOGOS		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 20日		令和7年 2月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日		令和7年 2月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 25日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の環境で、こどもの活動等のスペースが十分に確保されていることや、生活空間が、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていること、こども達の活動に合わせた空間となっていることなど。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内はバリアフリーとなっており、児童が安心して利用できるようになっている。</li> <li>・照明の明るさを調整できるようにしており、感覚過敏な児童も安心して利用できるようになっている。</li> <li>・運動室と個別学習室を設置しており、児童の発達や状況に応じたプログラムに対応できるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童がより楽しく、安全に遊べるような遊具などを取り入れる。</li> </ul>
2	児童に対する支援の内容で、特にこどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成され、計画に基づいた支援が提供できていること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントをベースに児童の発達に合わせたプログラムを提供している。</li> <li>・プログラムが固定化しないように変更を加えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童がより楽しく、プログラムに取り組めるように内容を変更していく。</li> </ul>
3	保護者への説明で、こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、プログラム内容を保護者にご覧になっていたが、重要な内容については一緒に確認していただいている。</li> <li>・プログラムで使用する教材について、必要であれば自宅でも使用できるように提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者も指導員と同様にプログラムを自宅で提供できるように情報共有できるようにする。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が提供できていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間割制でのサービス提供形態のため、交流する日時を確保することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブや児童館との交流日を設けることや、希望者をつのるなど、利用時間や希望者の調整が必要。</li> <li>・放課後児童クラブや児童館までの相互の移動手段の確立などの取組が必要。</li> </ul>
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられていない。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会も設けられていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同時間を利用されている保護者しか交流がはかれなことが課題となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者同士が交流できる機会を新たに設けるため、利用時間の調整や、日時の設定などの取組が必要。</li> </ul>
3	非常時の対応で、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別対応と、小集団での利用があり、スケジュール設定が難しいことが課題となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常災害時の安全対策を最優先として、場合によっては複数回参加する児童がいるなど、柔軟な対応ができるよう取り組む必要がある。</li> </ul>